

# 教育研究等環境の整備に関する方針

## 順天堂大学

---

本学の理念・目的を実現でき、国際的研究・教育・臨床拠点にふさわしいキャンパス環境整備に向けて施設設備の充実を図ります。地球温暖化等の環境悪化に配慮し、施設設備の適切な維持管理と有効活用を推進します。

### <大学キャンパス・ホスピタル再編事業>

- ・ 創立 175 周年記念事業として「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」を推進し、各キャンパス・附属病院群の施設・設備の再整備と拡充を図り、全学に亘る教育・研究・臨床活動の更なる向上を目指します。
- ・ 新たに建設する建物は、「100 年建築」、「他の範となる病院建築」、「エコロジー建物」を基本コンセプトとし、先進的なエコロジー技術を導入したエコキャンパス・エコホスピタルを実現し、安全・快適・安らぎのある癒しの空間を創出する環境整備を行います。

### <施設・設備の維持・管理について>

学生や教職員等にとって安全・安心で利用しやすい施設・設備を整備し、適切に維持管理を行うことにより教育研究環境を向上させることを基本方針とします。

1. 建物の基本性能として、キャンパス内建物の構造耐震化はすべて完了していることから、今後は、防災機能などの性能向上を図ります。震災時の被害軽減のため家具の固定を進め、天井等の非構造部材についても、耐震性能を調査し、必要に応じて対処していきます。
2. 学生数の増加、研究の高度化・多様化に対応する教育研究施設の整備を行います。
  - ・ 本郷・お茶の水キャンパスでは、研究棟の再整備に着手しています。
  - ・ さくらキャンパスでは、学生寮を増築整備し、共同生活で得られるコミュニケーションや協調性、他学部との交流を強化していきます。また、体操競技場や陸上競技場などの整備を充実させ、グローバルに活躍する人材を育成する環境・設備を整えていきます。
3. 日常の維持管理は、外部委託を活用し、専門性の高い設備運転、保守点検等により、快適な学習、研究、医療環境を提供するとともに防災機能の維持、事業継続計画の強化・見直し及び省エネルギーの推進を目指します。
4. 地球温暖化対策として、CO2 排出量管理、フロン管理、廃棄物管理など地球環境負荷低減への取り組みを継続します。
5. キャンパス内の階段や段差個所には、スロープやリフトを設置し、教室においても車椅子の学生が受講出来るようにバリアフリー化を継続的に推進します。

### <教育研究環境の整備について>

- ・ 高い教育効果が得られ、学生が主体的に学修を進められるよう ICT 環境及びグループワークエリアを整備します。
- ・ 国際的研究・教育拠点として、先端的かつ学際的な異分野融合型の研究を推進し、学術の進展や社会と産業界の要望に柔軟に対応できるよう、本郷・お茶の水キャンパスに新研究棟を建設し、最先端の教育研究機器を導入します。
- ・ SA・TA・RA を拡充するとともに知財担当や URA 等の研究支援要員も適切に配置し、教育研究支援体制を整備します。
- ・ 研究倫理遵守に関する教育・研修を行うとともに各種規程に基づき研究費の適正な執行と管理を行う体制を整備します。

### <ICT 教育研究基盤整備>

- ・ ICT を活用した授業を展開するとともに、双方向授業によるアクティブラーニングを推進するために情報基盤整備を行います。
- ・ 無線 LAN 接続環境を整備するとともに、キャンパス間ネットワークの充実を図り、ネットワーク環境を整備します。
- ・ 情報セキュリティを整備し、情報の保全及び管理を行います。